

# 当番世話人挨拶

第14回日本先進糖尿病治療研究会を、平成26年12月6日に、徳島県で開催させていただきますこと、心より御礼申し上げます。

今回はテーマを「叡智と技術と人との融合～共に目指す先へ～」とし、糖尿病の臨床の場で直面する課題を、先進技術をもって患者と医療従事者が一丸となって解決していくことを主眼としたプログラムにいたしました。基調講演では、最も先進的医療である膵島移植の現状と未来につきまして、第一人者の東北大学未来科学技術共同研究センターの後藤昌史教授からご講演いただきます。教育講演では、わが国で開発された人工膵臓を周術期の血糖管理に用いておられる高知大学の花崎和弘教授にご講演いただきます。特別講演では米国から Allen B. King 先生をお招きして、インスリン療法の最新知見をご講演いただきます。ランチョンセミナーでは、国立病院機構京都医療センターの村田敬先生から先進的糖尿病治療を実施するうえで、医療従事者と患者の間のコミュニケーションの必要性についてご講演いただきます。

さらに、今回は先進的糖尿病治療の対象である1型糖尿病患者を対象とした日本糖尿病協会主催の第13回全国ヤングDMカンファレンスを同時並行で開催させていただきます。ヤングDMカンファレンスとの合同シンポジウムでは、患者代表として坂本辰蔵氏に、医療者代表として内科側から神戸大学の廣田勇士先生に、小児科側から大阪市立大学の川村智行先生にご講演いただき、患者・医療従事者双方の視点により1型糖尿病の治療上の問題点、解決策について考えたいと思っております。

また、一般演題はCSII、CGM、SMBG、インクレチン関連など20題のご応募をいただいております。会員の皆様より多くの演題をいただきましたこと厚く御礼申し上げます。

会場のあわぎんホール（徳島県郷土文化会館）は徳島市の中心部に位置しており、学会のみならず、徳島ラーメン、徳島の海・山の幸など食や景観でもお楽しみ頂けると思います。多くの方々とお会いできることを楽しみにしております。

最後になりましたが、このような貴重な機会をお与えいただきました学会の中心の先生方、そして一般演題をご発表いただきます先生方、さらに座長をお務めいただく先生方、そしてご多忙の中、学会に参加いただきました先生方皆様に、心より感謝申し上げます。本会が我が国の先進糖尿病治療の推進及び新しい展開に少しでも貢献できれば幸甚に存じます。

松久 宗英（徳島大学糖尿病臨床・研究開発センター）

黒田 暁生（徳島大学糖尿病臨床・研究開発センター）

第14回 日本先進糖尿病治療研究会当番世話人